



木と遊び、木と育つ

山の香り漂う津島町清満地区に、

児童館がオープン

その名も「こもりん」

今月は、親子で楽しめるこもりんの中身や周辺スポットを紹介。

また、木のおもちゃづくりに関わる人の話を通して

木の良さを知り、森の大切さを学びます。

ふれる、あそぶ、まなぶ

木のおもちゃがたくさん！



■「こもりん」の由来
橋本 幸大 さん
子・森・林の3文字から愛称を考えました。多くの子どもたちが木にふれ合う施設になることを願っています。

ホール



屋外にも遊具がたくさん！



▶ホール
木の玉プールなど木のおもちゃがたくさん。つみ木をしたり楽器を作って奏でたり、遊び方は自由。ボルダリングで身体も動かせる！

どこまで登れるかチャレンジ！



いろいろな形の持ち手が楽しい



「こもりん」には、南予産木材を使った木のおもちゃや、薬師谷溪谷の倒木から作られた動物や鳥のミニユメントがたくさん。館内は木の温かさや香りが感じられて、ずっと居たい気分になります。
子どもの想像力にまかせて、無限の遊び方ができる木のおもちゃ

木にふれ、森とつながる

市立児童館「こもりん」



R56 至市内

アクセス

【ところ】津島町岩瀬丙560(旧清満幼稚園)
 【開館時間】午前10時～午後6時
 ※正午～午後1時は消毒・清掃作業のため入館不可。駐車場は清満公民館を利用してください。
 【休館日】水曜日、年末年始
 【対象】おもに18歳までの児童および保護者
 【利用料】無料
 【問合せ】市立児童館こもりん ☎32-2020



◀ 遊戯室
 0～3歳児向けの木のおもちゃがたくさん。



▶ 集会室 (工作室)
 お絵描きや卓球が楽しめます。



◀ 図書室
 かわいい、おもしろい絵本がたくさん。

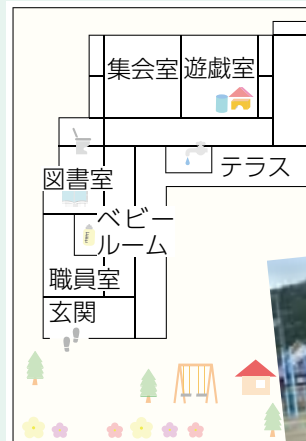


◀ ベビールーム
 授乳、オムツ替えをするときは、職員室に声をかけてください。



▲ 玄関
 薬師谷溪谷の倒木から作られた、たくさんのかわいい木の動物がお出迎え。

【館内図】



もちは「木育」に最適。今後は、絵本の読み聞かせや、クリスマスイベントなども予定されていて、子どもの好きな音が聞こえるすてきな場所になっています。



◀ 施設やおもちゃはInstagramでも紹介しています。

こもりん行って、 寄ってみる



こもりんがある津島町清満地区周辺は、木と山に囲まれた静かなところです。

こもりんのすぐそばには、ひと息つけるカフェがあります。少し移動すると、遊歩道がある溪谷で景色を楽しんだり、文化財に触れてみたり。子ども連れでも楽しめる場所がたくさんあります。

こもりんに行く機会に、ぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



公民館の軒下で、飲食も
できます。



笑顔カフェ
ホッとひと息ついてみる



アクセス



【と き】平日 午前9時～
午後3時

【と ころ】清満公民館

【料 金】無料

こもりんの駐車場になっている清満公民館では、平日に笑顔カフェを開催しています。館内にセルフコーヒーがありゆっくりとくつろげます。

ほっとひと息つきたいときは、気軽にお越しください。公民館職員が明るく出迎えます。



水が流れる音が心地よい。

自然の中を歩いてみる



横吹溪谷

県立篠山自然公園にある横吹溪谷。岩松川の上流で、大小の滝が連続しています。自然の散策道があり、県道から徒歩でおりたところに遊歩道が整備されています。秋には滝と紅葉が見られる絶景ポイントもあります。

【ところ】津島町横吹
※清満公民館から車で10分程度。

アクセス



文化財にふれてみる



満願寺の「二重柿」

県指定天然記念物「二重柿」で有名な満願寺。二重柿を食べると子宝に恵まれると信じられ全国から訪れる人も。秋にはイチョウの落ち葉が境内を彩り、写真映えスポットとして宇和島百景にも選ばれました。

アクセス



【ところ】津島町岩淵甲1657
※清満公民館から徒歩5分程度



「#宇和島百景」も要Check!



ちょっと先まで行ってみる

清満地区から御横方面に行くと、食事処や観光施設、土産物店などがあります。詳しくは、観光ブック「宇和島本」をご覧ください。



施設	概要
祓川温泉 (☎36-0333)	津島町榎川203-1 / 営業：午前10時～午後8時30分
みまきガーデン (☎36-0004)	津島町御内1218-1 / 営業：午前11時～午後2時
山本牧場 (☎36-0140)	津島町榎川150 / 営業：午前8時30分～午後6時
福田百貨店 (☎090-8483-9826)	津島町御内472 / 営業：午前10時～午後5時

※施設によって休業日が異なります。

木にふれ、 森とつながる



■ 山下 文彦 さん

薬師谷溪谷で、倒木を取り除いたり、ゴミは必ず持ち帰るよう声かけしたりと遊歩道の管理をしています。山下さんが倒木で作った木の動物たちを、こもりんに提供していただきました。



森を大切に作る。
倒れてしまった木から
作品を創造する。
再び、木や森の楽しみ
を知る。

Reborn—倒木が蘇る— (作：山下 文彦 さん)



薬師谷溪谷入口にある山下さんの作業小屋

今年の1月に本市を襲った強風で倒れた木が、薬師谷溪谷の遊歩道をふさぎました。山下さんが中心となり倒木の撤去に取り組む中で「倒木を取り除くだけではなく、何かおもしろいことができないか」と考えたのが作品づくりの始まりでした。

森に関わりのある小鳥や動物に注目した山下さん。溪谷の入口にある作業小屋に作品を飾っていましたが、こもりん設立を受けて、子どもたちのためならと提供していただきました。

「つつつとして自然のままの質感が残る木のおもちゃは、普段触る機会が少ない。こもりんに来て触ってみて、自然の木の優しさを感じてほしい。そして、木や森を大切に想う人に育ってほしい。」と山下さんは話してくれました。

こもりんにある山下さんの作品



ずっしりした倒木。運び出すのに、川の流れを使ったことも。



生き生きした表情の動物が玄関でお出迎え。



スズメやメジロ。こもりんには、小鳥が何羽飛んでいるでしょう。



壊れかけの車。ゆがんでいるけどそこがいい。



カブトムシにクワガタ、トンボなど種類も豊富。



リアルな昆虫が中を舞う。中には羽が動くものも…